



アズミの唄
~制服触手13番外編~



今日も歌おう

あの子のために

アズミの唄

— 制服触手13番外編 —





あつ
もう帰らなきや

またね!
アズミさんっ



——十年前の
あの日

私が十九歳の時



もう
寝たいのに...

いやだ虫?



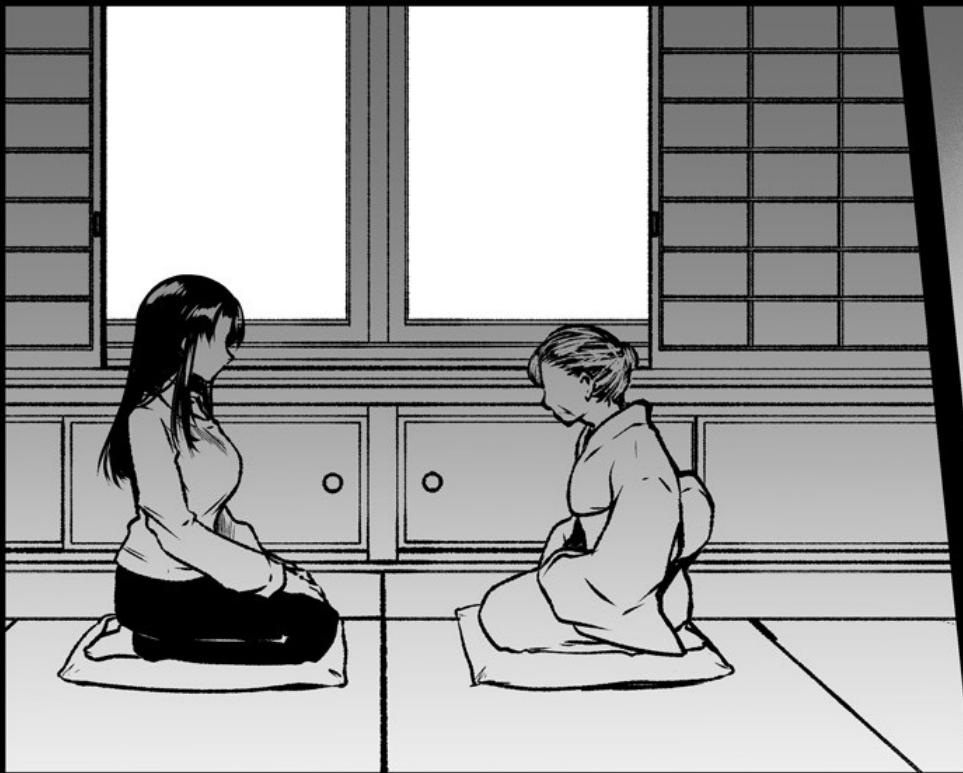
アツ...



そう

私は
この日まで

山神様の話を
本気には
していなかったのだ……



山神様

村の女が歌うと
どこからともなく
現れ

死ぬまで
歌わせ続ける
と云う


山神様に
気に入られるのは
二十歳になる
前の女のみ

魅入られた女は
子を生ず
暇もない

死ぬまで
歌わされる
と言うが

そのほとんどは
耐えきれず
自死を選択する
からだという






かつては
抵抗した者も
外部に助けを
求めようとした
者もいたが


そのたびに村に
災いが
降りかかり

村人はなす術もなく
迷信の形で
言い伝え続ける
しかなかった

魅入られる娘は
一度に一人のみ



ふと
脳裏に浮かぶ
幼い命



私が魅入られていれば
彼女は守れるはずだ



…何故
村を捨てようとは思
わなかった
のかしら



…
生まれてから
ずっと見て来た
この景色を

捨てられやせんよ

捨てられやせん…



ここ何十年と
出なかったのに

アズミも不運な

二十歳まで
あと少し
じゃったのに

田川の倅と
縁談もあった
のじゃろ

かわいそうにな…





大丈夫よ
頑張れる



…アズミ…

服だとすぐ
破けてしまう
から…



母さん
寝間着の
浴衣ある？



生姜も
漬けておこう



蜂蜜って
のどに良い
んだっけ



あれは
三日とあけず
やってくる

五年経つ

不思議と
歳をとらない

時を止めて
永遠に歌い続けると
言わんばかりに





望むところだわ

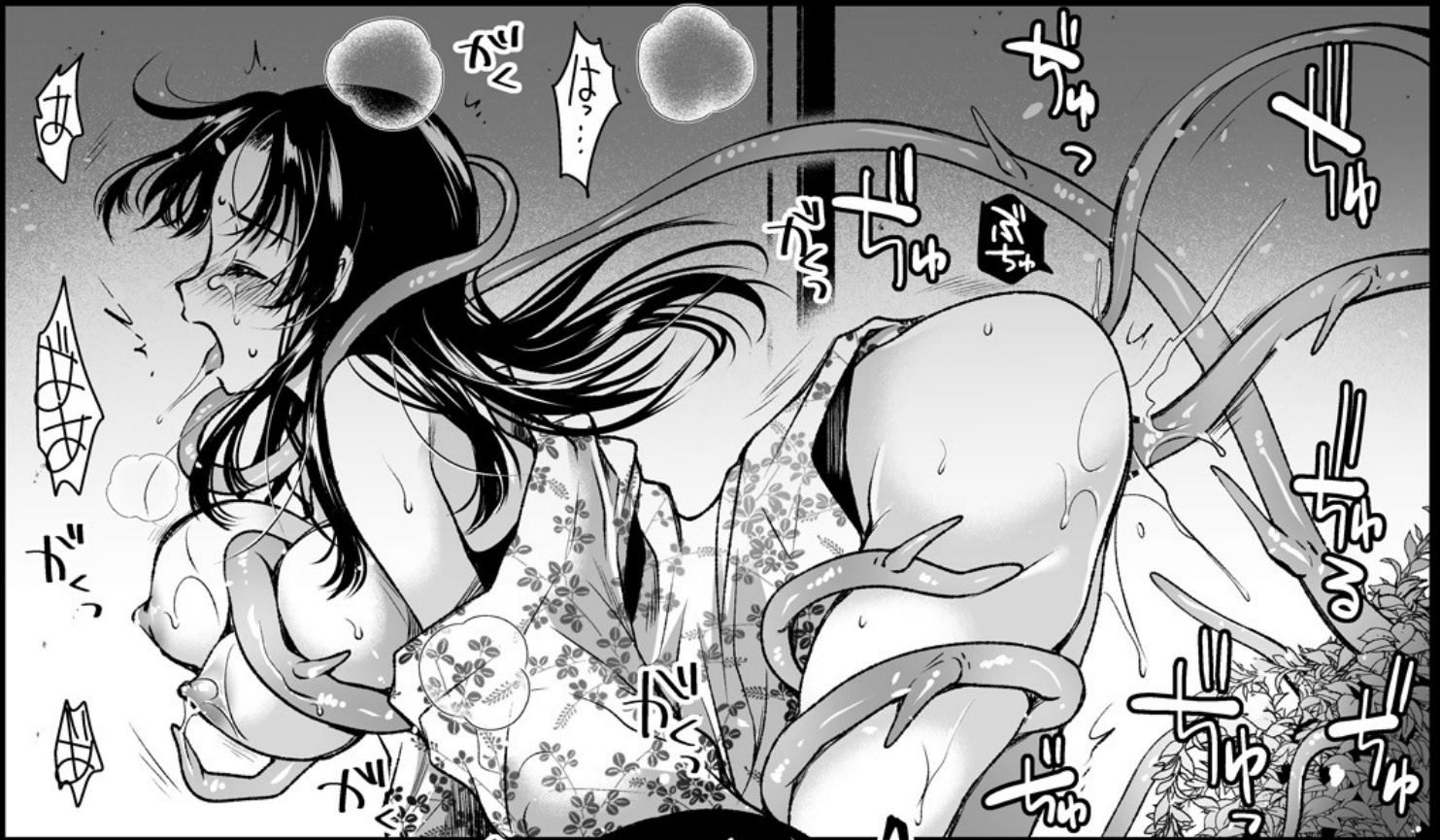
来なさいよ
歌ってあげる

何度でも



何度でも!









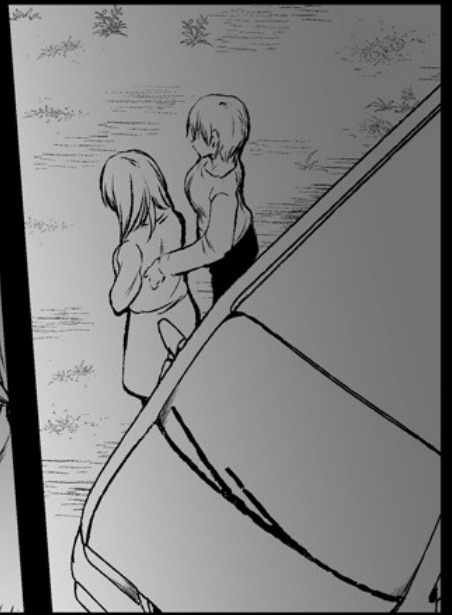
そして
十年の月日が経つ



…おかしい

もう五日も
来ない…？

こんな事は
初めて…





それでも



わたしも
この景色を
捨てることなど
できないのだから



人間って
無力ね

■あとがき■

この作品は「制服触手総集編3」で描き下ろしたものです。電子版未配信だったのですが、単品では話がわからず、どういう形で配信するか迷い続けてました。総集編3の紙同人誌も取り扱いを終了しているので無料全公開の形に決めました。本を手にとって下さった皆様本当にありがとうございました。

このイラストはアズミさんの高校時代です。以下は、当時のまま設定を再録しておきます↓

シリーズで書けなかった設定をいくつか。

・この村では中学と高校は最寄りのところに行く事になっていて、学校側も伝承については理解を示し、音楽の授業や催し事では口パク許可を出しています。

・が、アズミは伝承を信じていなかったので小声で歌ったりしていました。それでも何も起きなかったので、山神様なんて迷信だと油断していました。女性は大学進学をせず村で家業に従事するか20歳を迎えた後で結婚する者が多く、アズミさんもその予定で、今作は高校卒業後に村にいる19歳の時のお話になっています。

・山神様の事は当事者とその関係者による回伝が精一杯で、無関係な人に真実を話すとどんな災いが起きかわからないのでまだ無邪気な子供の静架に対して真実は言えず、母親に様子を確認して貰う程度しかできません。

・女性が歌いさえしなければ(山神様に関わらない限りは)村はいたって平和です。それどころか、作物もよく育ち、災害も少なく、景色も良く、住民同士も仲が良いので村自体が愛され、生涯を村で過ごしたがる住民がとても多いです。ただこの恩恵が山神様によるところなのかは、不明です。

